

●再生可能エネルギー

2012年の「固定価格買取制度（FIT）」の創設をきっかけに、太陽光や風力といった再生可能エネルギーを導入した発電施設が管内各地で稼働しています。

特に、風力発電は、令和6年1月に石狩湾新港の港湾区域で大規模な洋上風力発電所（着床式）の商業運転が始まったほか、石狩市沖が再エネ海域利用法に基づく促進区域の指定に向けて「有望な区域」に整理されています。



風力発電（石狩市）

市町村名	太陽光 発電	風力 発電	水力 発電	バイオマス 発電
札幌市	8	0	2	4
江別市	9	0	0	4
千歳市	13	0	0	2
恵庭市	7	0	2	2
北広島市	9	0	0	1
石狩市	11	10	0	2
当別町	2	0	0	1
新篠津村	2	0	0	0
管内計	61	10	4	16

※発電施設については、FIT 認定を受けた施設数（資源エネルギー庁「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法情報公表用ウェブサイト」）

※太陽光発電施設はメガソーラーのみ、風力発電施設は20kw以上の施設を計上

●次世代半導体

日本の半導体メーカーであるラピダス(株)（千歳市）が次世代半導体製造工場において、令和7年4月にパイロットラインを稼働させ、7月には試作品の製造に成功しており、令和9年の量産開始に向けて建設工事が続いています。

同社の進出に伴い海外の半導体メーカーが北海道にオフィスを開設するなど、関連企業の集積への動きが出始めています。



ラピダス(株) IIM-1（千歳市）

●データセンター

石狩市では、令和4年4月、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、環境省の掲げる「脱炭素先行地域」に選定されています。

同市の石狩湾新港地域では、再エネ100%供給エリアである「REゾーン」の整備を進めており、地域内の再エネを活用したデータセンターの立地の動きが見られています。

（令和7年6月30日現在）